



## 「子供ワークショップ in 稚内」

平成22年5月6日(木) 稚内市立上勇知小中学校において『子供ワークショップ in 稚内』を開催しましたので報告いたします。当日は、上勇知小中学校の全校児童生徒9名、教職員9名、合わせて18名の皆様にお集まりいただきました。

今回は、同校が毎年実施している「クリーン活動(通学路の清掃)」に合わせた開催となり、子供たちを対象としたイベントとして「クラフト作り」や「植樹会」を実施しました。

子供ワークショップのイベント前に、少しだけ時間をお借りして、当会から子供たちへ「みち普請」に関するテーマでイラストを交えた説明をさせていただきました。この中で「きれいな道、美しい街づくり」の大切さなどについて皆で確認しました。



稚内市立上勇知小中学校



「みち普請」について 子供たちへ説明

### クラフト作り(イタドリのフルーツ)

まずは、目玉イベントの一つである「クラフト作り」が行なわれました。今回は「イタドリのフルーツ作り」ということで、道端でよく見られるイタドリを用いたクラフト作りでした。身近な植物であるイタドリについて、特に茎の特徴(中空構造や節)などを知り、植物を加工することで簡単に音が出る不思議を体感していただきました。

子供たちは皆、イタドリの茎の長さに応じて様々な音階が得られることに興味津々の様子で、数本の茎を束ねながらフルーツの形に仕上げていきました。

最後に、各自が作成したイタドリのフルーツの音色を披露していただきました。大きな音を鳴らすには、イタドリの茎への吹き込み方に若干のコツがありますが、子供たちは皆、上手に音を鳴らしていました。中には「もっと多くの音階を出してみたい」と意気込みを見せる子もいました。



イタドリの茎を切っています



できあがった作品を手にポーズ

## 植樹会（くり、さくらんぼの植樹）

続いて、今回の子供ワークショップの開催を記念し、上勇知小中学校の裏庭で、関係者が見守る中、児童生徒による記念植樹が実施されました。地元の造園業者さん指導のもと、くり、さくらんぼの苗木を植樹いたしました。苗木の前には、子供たちの思いなどを寄せたプレートも設置いたしました。

子供たちからは、早速「くり、さくらんぼの実はいつ頃なるの?」との質問が...

実がなるには、およそ10年の歳月を要するとのこと、ちょうど次世代を担う子供たちが社会の最前線で活躍する頃でもあります。今後の子供たちの成長、および苗木の成長、どちらも楽しみです。

## クリーン活動（通学路の清掃）

午後からは、上勇知小中学校の行事「クリーン活動（通学路の清掃）」が行なわれました。この活動は、ふるさと上勇知を愛する心を育む目的で10年前に始められたそうです。毎年5月に、授業の一環で、学校周辺の通学路となっている道道、および校舎周辺のゴミ拾いを行っており、全校児童生徒、教職員が実施しているとのこと。

今回は、宗谷総合振興局および私ども北のみち普請を育てる会も活動に参加させていただきました。また、宗谷総合振興局からは軍手などの清掃道具の提供もございました。

雪解け後、間もない時期でもあったことから、道端には空き缶やペットボトル、タバコの吸殻などが目立ちました。子供たちが一生懸命にゴミを拾ってくれたおかげで、上勇知の街はとてもきれいになりました。

ゴミ拾い終了後、教頭先生が「今後もゴミが落ちているのに気付いたら、すぐに拾ってきれいな上勇知を守っていきましょう」と挨拶。子供たちは目を輝かせながら真剣に聞き入っていたのがとても印象的でした。

最後に事務局より、今回の『子供ワークショップ in 稚内』に参加、協力いただきました、上勇知小中学校の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

（北のみち普請を育てる会事務局 <http://www.k-michibushin.jp/>）



造園業者さんによる植樹の指導



すくすく育ててね



みんなでゴミを拾うぞ!



こんなに拾いました



北のみち普請を育てる会

<http://www.k-michibushin.jp/>